

第 54 回日本小児神経外科学会に参加して

熊本大学病院脳神経外科

泉 俊介

2026 年 6 月 5 日、6 日にかけて鎌倉市で開催された第 54 回日本小児神経外科学会に参加いたしました。今回の学会テーマである「小児脳神経外科の未来を思い描こう」の通り、小児脳神経外科領域における最新の知見や今後の展望について学ぶ貴重な機会となりました。

私は「出血を契機に発見された Dysembryoplastic Neuroepithelial Tumor (DNT) の 1 例」をポスター発表いたしました。DNT は比較的良性の経過をたどる腫瘍として知られていますが、出血を伴う症例は稀であり、その病態や出血機序には未解明な部分も多く残されています。発表では多くの先生方から貴重なご意見をいただき、文献的考察だけでは得られない知見や臨床経験に触れることができました。また、自施設では経験の少ない症例について議論することで、自身の理解をさらに深めることができました。

学会全体を通して、脳腫瘍、血管障害、水頭症など幅広い領域における新たな知見に触れることができました。また、小児神経外科領域では治療そのものだけでなく、長期フォローアップや移行期医療、長期生存後の生活を見据えた議論が多くなされていたことも印象的でした。患児が成長し成人期を迎えた後まで見据えた診療の重要性を改めて認識する機会となりました。さらに、虐待を含む頭部外傷や、脳死移植などに関するセッションでは、医学的な側面のみならず社会的課題としての重要性が強調されており、小児神経外科医に求められる役割の広がりについて考えさせられました。

今回得られた知見やご助言を今後の診療・研究活動に生かし、引き続き研鑽を積んでまいりたいと思います。

